

## 第1 平成26年度 事業の状況

1、定款第4条第1項1号に掲げる事業は、次により行った。

(1) 自然体験活動の主催事業(公益目的事業1)

ア、子どもゆめ基金助成活動

① 活動名 「子ども自然体験塾」

○日帰り型

- ・ 青山慎一先生の『昆虫』不思議発見!“昆虫たちの生活を観察しよう(昆虫塾)
- ・ 横山武彦先生の『野幌の森』不思議発見!“森の中にすごい自然のしくみに感動(植物塾)
- ・ 森の博士・薄井五郎先生の『森と生き物のつながり探し』  
“鳥や獣を利用する植物の知恵を学ぶ” (生き物塾)

○宿泊型

- ・ 佐藤和利元館長の『オホーツクの海と山』in紋別“オホーツクの先人や先輩達の知恵に学ぶ”  
(オホーツク塾)

② 実施日

日帰り型	1回目	2回目
青山先生の『昆虫塾』	7月6日	7月27日
横山先生の『植物塾』	8月17日	9月28日
薄井先生の『生き物塾』	10月5日	
宿泊型	出発日	帰着日
佐藤元館長の『オホーツク塾』	7月31日	8月3日

③ 募集対象

- ・ 日帰り型 小学3年から小学6年の男女
- ・ 宿泊型 小学4年から小学6年の男女

④ 募集地区

- ・ 日帰り型 札幌市とその周辺市町村
- ・ 宿泊型 札幌市とその周辺市町村

⑤ 募集方法

- ・ 日帰り型 札幌市とその周辺市町村小学校へのチラシ配付
- ・ 宿泊型 札幌市とその周辺市町村小学校へのチラシ配付

⑥ 名義後援

- ・ 青山先生の『昆虫塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・ 横山先生の『植物塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・ 薄井先生の『生き物塾』 札幌市、札幌市教育委員会
- ・ 佐藤元館長の『オホーツク塾』 紋別市、紋別市教育委員会  
札幌市、札幌市教育委員会

## ⑦ 参加者数

区分 塾名	参加人数			計画人数		
	子ども	大人	計	子ども	大人	計
青山先生の『昆虫塾』	34	0	34	30	0	30
横山先生の『植物塾』	10	5	15	20	10	30
薄井先生の『生き物塾』	16	3	19	30	0	30
佐藤元館長の『オホーツク塾』	36	0	36	32	0	32
合 計	96	8	104	112	10	122

\* 満員回答数

・昆虫塾 10名

・オホーツク塾 8名

## ⑧ 事業費

## ・ 青山先生の『昆虫塾』

事業費合計	644,623 円	前年度
(内、「子どもゆめ基金」助成金	468,000 円)	443,000 円
(内、参加費	34,000 円)	

## ・ 横山先生の『植物塾』

事業費合計	584,611 円	
(内、「子どもゆめ基金」助成金	483,000 円)	503,000 円
(内、参加費	15,000 円)	

## ・ 薄井先生の『生き物塾』

事業費合計	296,860 円	
(内、「子どもゆめ基金」助成金	263,360 円)	0 円
(内、参加費	9,000 円)	

## ・ 佐藤元館長の『オホーツク塾』

事業費合計	1,753,670 円	
(内、「子どもゆめ基金」助成金	908,000 円)	852,000 円
(内、参加費	666,000 円)	

## ・ 「子ども自然体験塾」

事業費総合計	3,279,764 円	26年度予算額
(内、「子どもゆめ基金」助成金	2,122,360 円)	3,490,685 円
(内、参加費	724,000 円)	2,417,000 円
		667,000 円

## ⑨ 活動場所

塾名	1回目	2回目
青山先生の『昆虫塾』	野幌森林公園、自然ふれあい交流館	西岡水源地公園、北方自然教育園
横山先生の『植物塾』	野幌森林公園、自然ふれあい交流館	野幌森林公園、開拓の村研修室
薄井先生の『生き物塾』	道民の森(神居尻)	
佐藤元館長の『オホーツク塾』	紋別市立博物館、オムサロ遺跡公園、紋別市立オホーツク青年の家、上藻別駅通所、鴻之舞金山跡、八十土、オホーツクタワー、ホワイトビーチ、道立流水科学センター	

## ⑩ 主な活動内容

塾名	活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラムと主なポイント	
青山先生の『昆虫塾』	昆虫観察と採集	自然林周辺や水源地(沼と川と森)と異なる環境には、どんな昆虫が生息しているのかを観察・採集をとおして、自然界における昆虫の役割や特性について学びます。
	青山先生の「昆虫の自然界における役割」	青山慎一先生の個人コレクション(世界の蝶・甲虫類等)約10万頭を観察しながら、進化の過程で身につけた特性や自然界における不思議な仕組みについての青山先生のお話を聞き、自然界の不思議な仕組みについて学びます。
	標本作成	標本(蝶・甲虫)作成の実習をとおして、採集時のマナーや採集方法、保存方法等について学びます。
横山先生の『植物塾』	森の自然観察	森のつくり、動植物の観察から不思議な仕組みを発見し、夏と秋の森の違いや植物の春への準備の観察をとおして、いのちのつながりについて考えます。
	年輪学習や二酸化炭素調べと「ひつつきむし」の標本作成	植物の成長の仕組みを年輪から学び、二酸化炭素と植物の成長、森の果たす役割について考え、「ひつつきむし」の観察や標本作成をとおして、植物の新しい命を作るための準備について学習します。
	不思議の発表と気づき	見つけた不思議の発表や気づきにより、自然の仕組みの巧みさを学び、科学的な探求へ誘います。
薄井先生の『生き物塾』	子孫を残す術を知ろう	鳥や獣の性質に合わせた木や草の子孫繁栄術を自然観察をとおして理解させます。
	「森」を見る眼を養おう	生き物の生活の場「森」の観察や山の恵み採取体験をしながら、巣、糞その他の生き物の痕跡や、餌の豊富さに注目しながら、生き物が生活しやすい森の姿を子ども達に考えさせます。
	樹を植えよう	一人一人の手で植樹させることにより、森の役割りと守り育てることの大切さを学ばせます。
佐藤元館長の『オホーツク塾』	先人の生活体験と昔の仕事体験	火おこし等の古代の生活体験、金の選鉱、脱穀等、昔の道具を使った仕事体験や砂金採取を通じ、自然からの恩恵を生かした昔の生活について学習します。
	オホーツクの魚学習と地引網体験	海底から魚を観察したり、海浜での地引網体験により、オホーツク海特有の生き物との触れ合いにより、豊かな環境を守る大切さを学習します。
	宿泊体験と日記指導	初めて会った子供同士が集団生活をする事により、規律を守ることや仲間と助け合うことの大切さを体験させ、自分のことは自分でする自力(みずからりよく)の向上を目指します。また、毎日日記をつけさせ、文章を書く大切さを自覚させます。

## ⑪ 講師・指導者数

塾別	外部講師・指導者	財団講師・指導者	計
青山先生の『昆虫塾』	7	4	11
横山先生の『植物塾』	10	5	15
薄井先生の『生き物塾』	6	3	9
佐藤元館長の『オホーツク塾』	12	2	14
合計	35	14	49

## ⑫ 講師・指導者名

## ・青山先生の『昆虫塾』

	氏名	所属
塾長	青山 慎一	北海道昆虫同好会
講師	山内 英治	北海道昆虫同好会
講師	高木 秀了	北海道昆虫同好会
リーダー	富岡 一輝	北大昆虫研究会
リーダー	横内 洸	北大昆虫研究会
リーダー	菊地 波輝	北大昆虫研究会
指導者	大黒 善夫	前豊平区民生児童委員
財団講師	村山 俊量	評議員
財団指導者	高橋 淳一	評議員
責任者	河村 耕作	理事長
事務局長	佐藤 勝信	常務理事

## ・横山先生の『植物塾』

	氏名	所属
塾長	横山 武彦	北海道自然観察協議会
講師	山形 誠一	北海道自然観察協議会
講師	須田 節	北海道自然観察協議会
講師	本富寿美恵	札幌市環境教育リーダー
リーダー	畑中 朋子	酪農学園大学野生動物生態研究会
リーダー	河上 智也	酪農学園大学野生動物生態研究会
リーダー	福原 瑞生	酪農学園大学野生動物生態研究会
リーダー	山野寺隆太	酪農学園大学野生動物生態研究会
リーダー	金子 命	酪農学園大学野生動物生態研究会
指導者	大黒 善夫	前豊平区民生児童委員
財団講師	村山 俊量	評議員
財団講師	岡田 祐一	理事
財団指導者	中野 政幸	理事
責任者	河村 耕作	理事長
事務局長	佐藤 勝信	常務理事

## ・薄井先生の『生き物塾』

	氏名	所属
塾長	薄井 五郎	日本野鳥の会
講師	開本 孝昭	北海道森を創る会
講師	下村 清蔵	森林技術士会
講師	柳生 修	北海道森と緑の会
講師	高橋 幸男	道民の森ボランティア協会
指導者	大黒 善夫	前豊平区民生児童委員
財団指導者	中野 政幸	理事
責任者	河村 耕作	理事長
事務局長	佐藤 勝信	常務理事

・佐藤館長の『オホーツク塾』	氏名	所属
塾長	佐藤 和利	紋別市立博物館
講師	小林 健一	紋別市立博物館
講師	米原ふさ子	植物研究家
講師	小玉 勝信	上藻別駅逡保存会
講師	増田 平作	上藻別駅逡保存会
講師	宮下 道明	中学校教諭
リーダー	川村 昂史	北大大学院理学研究院
リーダー	水野 君平	北大大学院教育学院
リーダー	小野 優嗣	北大大学院環境科学院
リーダー	竹内 文人	北大工学部
養護担当	飯田 芳子	北大工学部
指導者	大黒 善夫	前豊平区民生児童委員
責任者	河村 耕作	理事長
事務局長	佐藤 勝信	常務理事

## ⑬ 募集案内配付箇所及び部数

配布先区分	箇所数	配付部数
札幌市内及び当別町小学校	64	19,266
札幌市内児童館	0	0
紋別市立博物館	1	20
過年度参加者	71	142
記者クラブ	1	25
塾長	3	90
財団関係者	12	17
予備		440
合計	152	20,000

## ⑭ アンケート

- 何でお知りになりましたか

塾別	リーフレット		その他	備考(その他の理由)
	学校から	児童館から		
昆虫塾	31	0	6	前年度参加6
植物塾	8	0	1	
生き物塾	18	0	0	
オホーツク塾	34	0	2	
合計	91	0	9	

- 自由記述

昆虫塾

1、今のままでよい 25名

2、自由記述

・実習が多い方がよい

・鉱石塾、小学・中学でも習うことだからぜひまた

・小1の弟も参加できるプログラムがあるとよい

- 植物塾 1、今のままでよい 3名  
2、自由記述  
・昨年+α あると嬉しい  
・家族参加できてありがたい  
・とても楽しみです
- 生き物塾 2、自由記述  
・兄弟も参加したい
- オホーツク塾 1、今のままでよい 29名  
2、自由記述  
・就寝時間21:30は遅いように思いますが

## イ、出前子ども自然体験活動(北海道青少年活動助成事業)

- ① 活動名 守屋 開先生の精進川の水生生物と命のつながり  
② 実施日 8月9日(土)  
③ 募集対象 小学3年生以上  
④ 募集地区 主に中の島地区及びその周辺地域  
⑤ 募集方法 地域町内会に一任  
⑥ 後援名義 札幌市、札幌市教育委員会  
⑦ 協力 中の島小学校、中の島一区第3町内会  
⑧ 参加者数

区分	参加人数			計画人数		
	子ども	大人	計	子ども	大人	計
守屋先生の『命のつながり』	13	5	18	20	0	20
合計	13	5	18	20	0	20

## ⑨ 事業費

事業費合計	192,114 円
(内、北海道青少年活動助成金)	100,000 円
(内、参加費)	0 円

## ⑩ 活動場所及び活動内容

- ・精進川(中の島豊中公園河畔)、中の島小学校理科準備室
- ・精進川で水生生物の採集と観察
- ・小学校理科準備室で顕微鏡で観察しながら説明と同定
- ・守屋開先生のお話『精進川の水生生物と命のつながり』

## ⑪ 講師・指導者名

講師	守屋 開	札幌市青少年科学館専門職
指導者	向 俊孝	中の島一区第3町内会長
財団講師	嶋田 肇	理事
責任者	河村 耕作	理事長
事務局長	佐藤 勝信	常務理事

ウ、自然体験学習の普及に係る情報発信活動

① 青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

7月下旬に仮オープン

現在WEBにて公開数

チョウ 144 箱

6,740 頭

事業費合計 464,828 円

(委託費) 413,640 円

(雑費) \* 標本箱等 51,188 円

② 主催事業の活動の様子紹介

HP<活動のようす(スライド)>欄にて紹介中

・「子ども自然体験塾」

・「出前自然体験活動」